

高萩北地区第 5 回学校運営協議会会議録

本高萩北地区第 5 回学校運営協議会の会議結果は、次の通りです。

日 時	令和 7 年 2 月 2 6 日 (水)
場 所	高萩北小学校
出 席 者	杉山、小泉、辻本、舘洞、新、松田、永島、土屋、高沢、湯本、島津、阿部、小坂井、橋本、初野、岡村、川北
欠 席 者	
審 議 事 項 及び決定事項等	
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校だより ・学校自己評価システムシート ・令和 7 年度学校経営方針
会 議 の 経 過	<p>1 挨拶 市教委</p> <p>2 近況報告 高萩北小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺工事の状況により不便をかけるが了承してもらいたい。 ・2/14 大縄大会を実施した。練習の成果が発揮された。 ・新型コロナによる学級閉鎖をしたが、落ち着いた。 ・3/7 6 年生を送る会に向けての練習を開始した。 6 年は卒業に向けて取り組んでいる。1 日 1 日を大切にしてもらいたい。 ・校外学習へ出かけた。6 年 国会議事堂、3 年ベイシア ・日高都市ガスによる SDGs の出前授業を実施した。 高萩北中学校 ・2/26,27 県立高校の入試 私立国立へ 48 名が進学、県立へ 82 名が受験本年度から入試の手続きが電子申請になった。 ・地域の軟式野球クラブ（日高ライオンズ）の立ち上げへ練習等で北中の施設を利用することになった。

3 協議

(1) 令和6年度学校評価について

小学校

- ・おおむねよい評価をいただいた
- ・地域連携…高い評価 甘えず一致団結し組織的に
- ・小中連携…さらに進めていきたい
- ・基礎学力、家庭学習
家庭での学習が安心して取り組めるような案内を出せれば。発信できるように協議する。R7当初に発信したい。
委員より

- ・学校周辺の工事について小中連携して安全の重視を→逐一、連絡し、周知する。
- ・一貫教育についての教職員の意識は？
→研修会の中で話し合い内容の深まりを感じる。
できたことの成果を踏まえて活動の充実を図りたい。
→課題を明らかにする。情報の共有を確実に。
→一貫教育をどのように展開していくか保護者に対しての発信を
- ・いじめの認知については？
→アンケートを踏まえて聞き取りを丁寧に行っている。
暴力0件。今後も教職員のアンテナを高くし、認知していく
→認知したら情報を共有してもらいたい

中学校

- ・いじめの対応がよい
- ・トラブル対応が迅速だった
不登校、心の病の対応を教育相談体制をきめ細やかに話をきけるようにしている。
- ・基礎学力の向上
思考する授業を実践している。家庭学習の充実をさせる。英語、数学の少人数指導を行っている。
- ・学校だよりを評価いただいた。
- ・小中一貫への保護者の理解を深めたい。
- ・学校行事の評価をいただいた。
- ・地域清掃を継続したい。

委員より

- Aのみの割合が低い…教育委員会は、どうとらえるのか
→Aのみの数値が独り歩きしないように公開する。
- 教えない授業の具現化をどうとらえている？
今後どうする？
→教育長より 教えないでなく、教えすぎない教え込む
でなく、やってみて考えよう
- スクールタクトを利用した振り返りについて
…振り返りの内容がよくなると学習への取り組みがよくなる。
- 花植え活動は生徒の参加を優先したい。
- PTA活動を今後どうしていくか。が課題
- 北中の男女の仲がとてもよい。
- 基礎学力の向上 小中の共通課題
自分で課題に気づいて取り組む。その方法を教える。興味を持たせることを大切にしなければならない。
→施設分離型なので共有にかなり力をいれなければいけない。

(2) 令和7年度学校経営方針について

小学校

①小中一貫教育校へ

②学校教育目標の具現化

・かしこく

ふるさと科の位置づけ

学び合いの場を多く設定する→学び方を学ぶ

非認知能力をさらに高める

ユニバーサルデザインの視点に沿った教室環境

学級経営の充実

・なかよく

初期対応を重視

解決の見届けまで(すぐに解決したとおもわない)

ユリイカとも連携

道徳教育の充実…学校全体を道徳教育を推進する
教師の位置づけ

・つよく

基本的な生活習慣→朝食の欠食率3%以下へ

あいさつ、声掛け…自分の身を守るためにも

②教師像

- ・強い使命感、論理的な思考、他者への理解

③保護者、地域社会像

- ・学校協働本部との連動を強く
- ・報連相確認
- ・不祥事防止 なんでも言い合える雰囲気づくり
- ・ふれあいウィーク、年次休暇の計画的な取得
- ・幼・保、高校との連携を広げる
- ・見守り活動の方への感謝

委員より

・UD とは？

→周りの影響を受けやすい児童への対応

だれもが集中して授業を受けやすい環境にすること。

- ・ふるさと科で何が変わる？…地域の素材を活かした学習
地域の人に助けをもらうことも増えるのか？地域に PR
をすることが必要ではないか。昔遊びなどの復活を。
- ・タブレット教育についての問題は？→壊れる。
- ・朝食欠食率の高い理由は？→高い学年は 11%。本人の状況もある。朝起きるのがぎりぎり、寝不足で食欲がないなど。
- ・具体的な取り組みが必要！「だめなことはダメといえる保護者、地域」甘くなっているが学校でも感じるか？
→ちゃんとダメと言ってくれる地域の方がいる。大切にしたい。

中学校

小中一貫教育の深化と発展 分離型の長所活かす

- ・中1ギャップ を成長と再出発の機会に
- ・「ふるさと科」を中心に授業での交流…バリエーションを増やして
- ・きめ細やかな支援
- ・9年間で非認知能力を育成

開かれた学校

小中一貫教育のよさが伝わるように。PDCA でやりながら見直していく

	<p>学力向上・興味関心・工夫した家庭学習 非認知能力を付帯的な</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心 発達段階に応じた積極的な生徒指導 ・健やかな体 健康な生活の実践力を育てる 早寝早起き朝ごはん ・資質向上 非認知能力を具体的な学力につなげる指導法 <p>教職員の心がけ 分離型の特徴を生かす よさに目を向けてよさを伸ばす 委員より 小中に共通して朝ごはんを食べる指導を ふるさと科の交流の具体は？ 地域清掃、ふるさとマップのプレゼン、日高の未来 のプレゼン</p> <p>(3) 地域学校協働活動の今後の取り組みについて 地域学校協働本部 見守り隊を募集中 北地区こども連絡協議会を「子供部」とし、傘下にする</p> <p>4 その他 小学校の入学式…午後の開催へ</p>
--	--